

2010年 全日本F3選手権 Rd.1・2 吉田広樹 〈鈴鹿サーキット〉

今シーズンはF4西日本シリーズに引き続き、新たなチャレンジャーとして全日本F3選手権のチャンピオンクラスに参戦させていただくことになりました。このクラスは凄くプロフェッショナルでレベルの高いクラスという認識があり、自分の目標としていたクラスです。今回のお話をいただいた時、今まで自分がどれくらい成長してきたか？また、自分の速さはどこまで通用するのか？という気持ちにかられ、興奮を隠せませんでした。このようなチャンスを用意してくださったスポンサー様をはじめ、チームの皆さん、そして沢山の関係者の方々には本当に感謝しています。

4月16日 フリー走行 WET

7番手/Cクラス6台、Nクラス11台中

今シーズン開幕戦の舞台は三重県・鈴鹿サーキット。自分はF3マシンをドライブした経験はほとんどなく、合同テストの際に走らせて頂いたのが初めてでした。しかもその合同テストはWETコンディションだっただけに、走り慣れた鈴鹿でのレースには正直ホッとしました。そして迎えた開幕戦フリー走行、しかしこの日も朝から雨がふり続け1日中WETコンディションでの走行となってしまいます。4月とは思えないほどの寒さの中セッションが開始、まずは「マシンに慣れる」ということを念頭に置きコースイン。セッション開始直後は雨の量も少なかったため各車スリックタイヤでの走行となり、4周目には2'00.590というタイムで7番手につきます。しかしその直後には



雨量も多くなりレインタイヤへと交換。そこからは積極的に周回を重ねますが、この季節では考えにくいほど気温・路面温度が低かったためレインタイヤには中々熱が入りません。午後に入り更に雨脚も強くなり、その影響からかコースアウトする車両も続出。自分も何度かスピンを喫してしまいます。最終的に天候が回復することなく初のフリー走行はセッション開始直後の7番手で終えることとなりました。

4月17日 Rd.1 公式予選 DRY

6番手/Cクラス6台、Nクラス11台中

この日は昨日と打って変わり青空が広がる中、10分間の公式予選がスタートします。初のDRYコンディションでの走行となるこの予選は、タイヤをいいところでアタックすることよりも絶対ミスをせず、DRYでのスピードに慣れ、尚且つ次の予選に向けてマシンバランスもチェックするということを頭において走り始めました。走り始めてすぐに昨日のタイムは上回ることが出来たのですが、このF3マシンは今まで自分がドライブしてきたどのマシンよりも圧倒的に速く、ダウンフォースの量も桁違いで中々限界まで攻めきれません。しかし、周回を重ねるごとに少しでも限界に近づけるようプッシュし、それに合わせてタイムも縮めることが出来ました。途中タイヤの為に、自分の中で整理するためにもクールラップを挟み再度アタックを開始。最終ラップに1'55.750というタイムを刻み6番手で初の公式予選を終えることとなりました。

Rd.2 公式予選 DRY

5番手/Cクラス6台、Nクラス11台中

Rd.1の予選から10分間のインターバルを挟み、迎えたRd.2公式予選。この予選では、先ほどの予選で掴んだ感覚とNEWタイヤのいい所を使ってアタックを行うことを念頭におき走ります。1回目の予選で感じたマシンバランスから少しセッティングを変更。よく曲がり、一発のタイムが出しやすいようセットチェンジをしてもらいコースイン。しっかりタイヤを温めアタッ

Team Naoki

with
Lapin
LAPIN RACING

<NO.1>

2010年 全日本F3選手権 Rd,1・2 吉田広樹 〈鈴鹿サーキット〉

クを開始、計測2周目にはさきほどの予選タイムを上回り、更にタイムを縮めます。4周目には1回目の予選タイムを1.2秒ほど上回る1'54,569を刻み5番手につけます。その後は一旦クールラップを挟み再度アタックを行うつもりでしたが、他車との距離、タイミングを見誤ってしまい、このまま5番手でこの予選を終えることとなりました。しかし1回目の予選に比ベトトップとのタイム差も0,3秒ほど縮み、少しづつではありますがF3マシンの性能を引き出すことが出来たと思います。

決勝レースRd,1 DRY

6位/Cクラス6台、Nクラス11台中

午後に入りいよいよ決勝レースが始まります。このF3が今までのフォーミュラカーレースと違うポイントとして、グリッドに着く前にウォームアップランが行えます。予選終了後、決勝レースに向けエンジニアの方とセッティングを変更。その確認の為ウォームアップランも積極的にタイヤを温めマシンの動きをチェック。更に初めてのF3レースということもありスタート練習も欠かさず行います。そしていよいよ全日本F3選手権の開幕です。

シグナルに集中し、シグナルレッド・消灯・スタート！

タイミングも良く、1コーナーまでで1台をパス。そのまま前の選手についていきチャンスを伺います。レース開始から3周目くらいまでは前のドライバーについて行っていたのですが、レース前に変更したセッティングの影響もあり、アンダーステアが強くそこからは徐々に離されてしまいます。そして5周目には後ろのドライバーがバックストレートでスリップに入り、シケインのブレーキングでインをさせられ、ポジションをひとつ落としてしまいます。そこからも必死で前のドライバーについていけるようブッシュし、仕掛けるチャンスを伺うのですが、各コーナーで少しづつ離されて行くと同時に自分のミスも多く徐々に離されてしまいます。しかし周回を重ねることで、徐々にマシンの挙動もつかめてきた事から、レース後半に自己ベストを更新する走りが出来てきました。最終的に前の選手に追いつくことは出来ませんでした。初のF3レースは6位でチェッカーをうけることとなりました。

4月18日 決勝レースRd,2 DRY

5位/Cクラス6台、Nクラス11台中

開幕戦から一夜明けたこの日は、昨日とは違い午前中に決勝レースが行われます。また周回数も昨日の12周から17周へと増え、更に天候も良く、気温・路面温度共に上昇するコンディションとなりました。昨日のレース中のアンダーステアを解消するためチームの方と話し合い、このコンディションや周回数も踏まえてセッティングを変更し。昨日同様ウォームアップランでマシンバランスをチェックします。昨日のウォームアップで確認できたと思ったバランスはフロントタイヤを温め切れていない状況で判断してしまったため、レース中でのアンダーステアに繋がったものだと思います。このRd,2ではその事を計算に入れセットチェンジを行いました。そしてフォーメーションラップを終え、シグナルレッド・消灯・スタート！！

今回は少しホイールスピンが多く1コーナーまでに1台にパスされてしまいます。しかし続く2コーナーのイン側にスペースを見つけ、クロスラインでS字までにひとつポジションアップ。その結果オープニングラップを5位で追え、前車に続きます。昨日のマシンからセット変更を行った結果、アンダーステアも減り3位争いの集団について行きます。一度バックストレートで前車のスリップに入りシケインのブレーキングで仕掛けようと思ったのですが、インに入るまでは行かず、そのままの順位で周回を重ねます。しかし5周目に入った130Rでし掛



Team Naoki

with

LaSalle
LIMEX SPORT

〈NO.2〉

2010年 全日本F3選手権 Rd,1・2 吉田広樹 〈鈴鹿サーキット〉

けられ、6番手にポジションを下げてしまいました。レース中盤に入った頃には単独の走行になってしまっていたのですが、前車がミスをしたことから急接近。必死で喰らいつき仕掛けるタイミングをうかがうのですが、またしてもジリジリと離されてしまいます。レースも後半に入り昨日より5周長いレース距離で、どの程度タイヤの磨耗がラップタイムに影響するのかかわからない部分もあったのですが、思ったほどタイムも落ちず、前車とのギャップもそれほど変わらないまま周回を重ねることが出来ました。そして残り2周というところで、前車がミスをしたことからポジションをひとつあげ、5位でレースを終えることが出来ました。

けれども初のF3レースを終えてみてトップと今の自分の差も大きく、予選の速さや、レースラップ、体力面など課題が山積みです。そして今まで走ってきたマシンと比べ、圧倒的にダウンホースも大きいことから走り方や、セッティングについてもまだまだ沢山のことを学ばなければなりません。けれどもフリー走行から始まり、予選・決勝と走るたびに手ごたえも感じました。さらにこのレースでワンランク上のチャレンジを行えることに、もの凄くモチベーションも上がり、心底興奮しました。

今回のような成績で次のチャンスがもらえるかわかりませんが、今の自分に出来ることを精一杯努力し、次に備えたいと思います。最後にこのチャンスをご用意して下さいました関係者の方々、本当にありがとうございました。そして引き続きご指導、ご支援宜しくお願い致します。

今回は開幕戦ということもあり、タイヤの変更が大きなポイントだったと思います。そんな中チームの方が走りやすいマシンを用意してくれたおかげで、ファステストラップもとり、完璧なレースが出来たと思います。

これからは他のチーム・ドライバーもタイヤの特徴などを掴んでくると思いますし、新型マシンの開発も進んでくると思います。ここで気を緩めることなく、次のレースに向けもう一度気を引き締め、挑みたいと思います。今後も優勝を目指し頑張りますので、引き続きご指導、ご支援宜しくお願い致します。



Team NAOKI with LE PRIX SPORT

吉田 広樹



Team Naoki

with

Le Prix Sport
LE PRIX SPORT

〈NO.3〉